

Windows 10 64bit 版へのインストール

「Windows 10 64bit 版」では、「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、通常はできないようになっています。のインストール、あるいはデバイスドライバーの更新／再インストールするときは、一時的にこれをできるようにする必要があります。

それには、Windows 10 起動時の「スタートアップ設定」において、「ドライバー署名の強制を無効にする」とします。

「スタートアップ設定」画面を表示する方法

1：複数のシステムがインストールされていて、起動時に選べる場合は、「F8」キーを押して起動します。

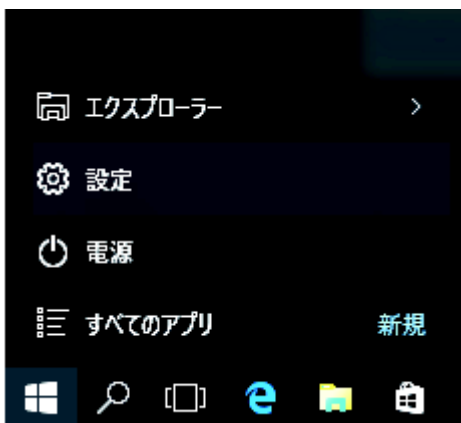
「スタートアップ設定」画面が表示されます。

「ドライバー署名の強制を無効にする」を選びます。

（数字キーの「7」を押します）

2：Windows 10 動作中の場合は、以下の手順で行います。

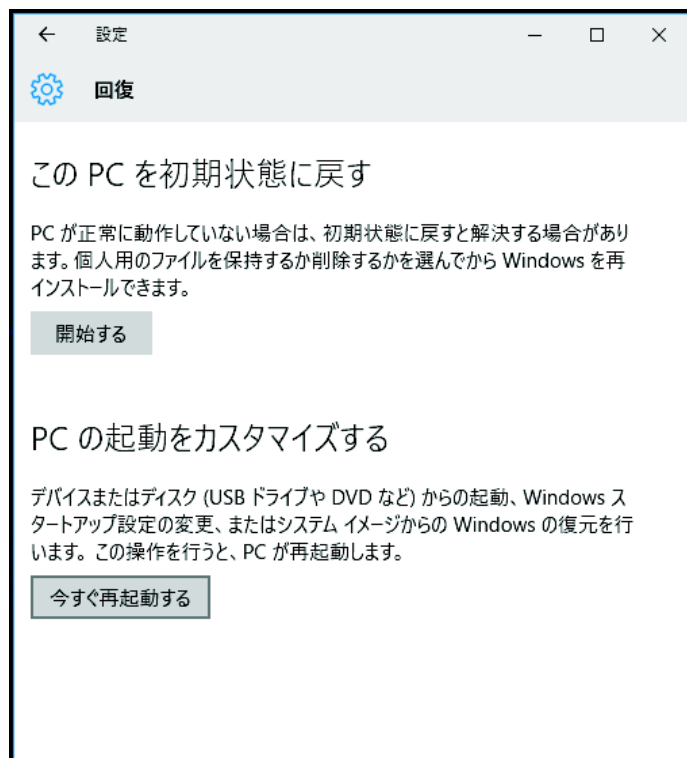
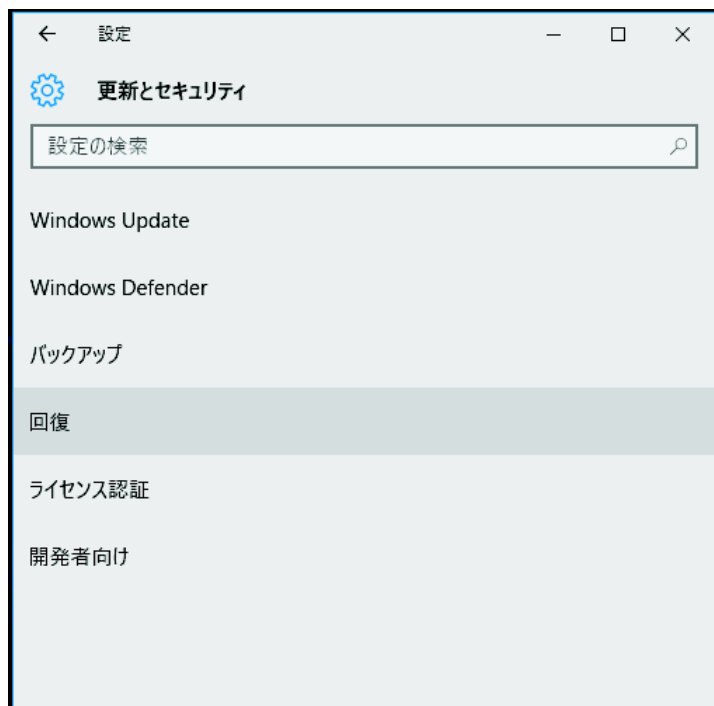
（この説明を表示しながらは行えなくなりますので、印刷したり、他のコンピュータで表示してください）



スタートメニューから「設定」を選びます。



設定：「更新とセキュリティ」を選びます。



更新とセキュリティ：「回復」を選びます。

回復：「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」を選びます。

「今すぐ再起動する」を選ぶとPC が再起動して「オプションの選択」画面が表示されます。



「トラブルシューティング」を選びます。

「トラブルシューティング」画面が表示されます。



「詳細オプション」を選びます。



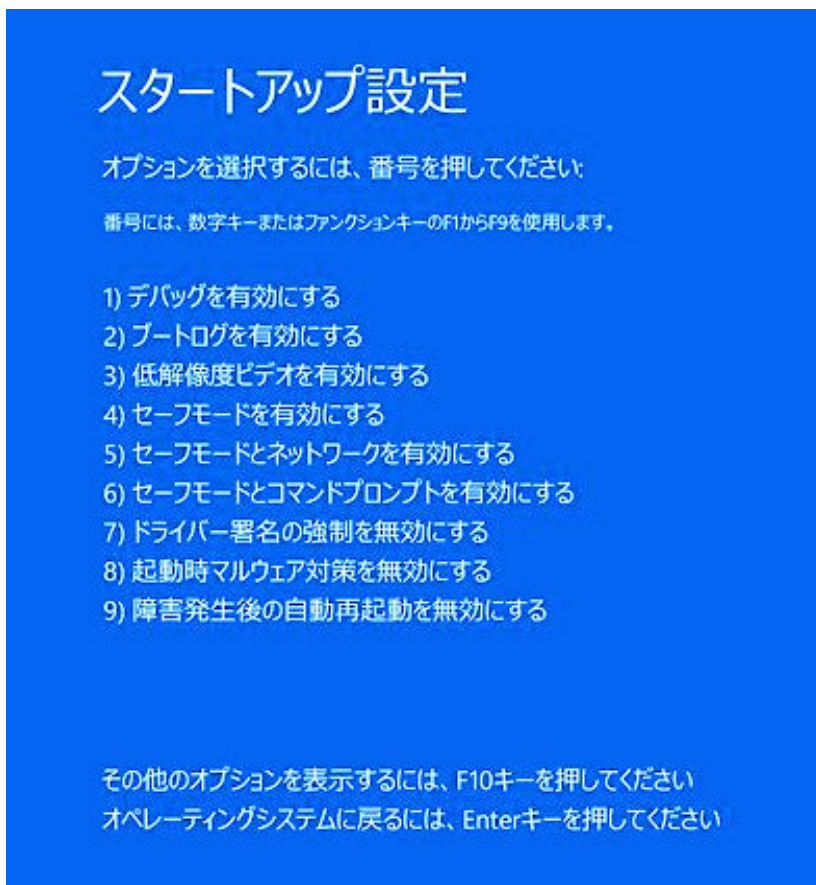
「スタートアップ設定」を選びます。

「スタートアップ設定」画面が表示されます。



「再起動」を選ぶと再起動後に「スタートアップ設定」画面が表示されます。

「スタートアップ設定」画面



「ドライバー署名の強制を無効にする」を選びます。
(数字の「7」を押します)

このように起動してから、GPM インストーラーの実行、デバイスドライバーの更新、デバイスドライバーの再インストールを行ってください。

次回の起動時には通常の設定に戻っていますので、再度インストールなどを行う場合は同様の手順が必要になります。